

みたか環境ひろば 第57号

平成 28 年10月 1 日号



環境にやさしいエネルギー

最近の熱源機等の設備は、地球温暖化や省エネルギーを考慮したものに進化しています。

家庭で導入することができる設備としては、ガスで発電する際の熱を利用してお湯を作る家庭用燃料電池や、太陽の光を利用して発電を行う太陽光発電システムなどがあり、エネルギーの自給を、CO2排出量を少なく行うことができます。また、電力使用量が少ない時間帯の電気を貯めて、ピーク時に使用することができる蓄電システムなど、多くの機器が環境への配慮を目指して進化しています。

上記の設備は、環境負荷の低減効果だけではなく、その他の多面的な効果も期待ができます。

例えば、太陽光発電システムについては、発電した電力のうち、余った分を電力会社に余剰電力買取制度により売電することができます。また、家庭用燃料電池等については、停電時においても暮らしに必要な電気を得ることができます。

現在、家庭でエネルギーを作り、貯めるだけではなく、賢く便利に使うことも注目されています。

一つの例として、太陽光発電システムや蓄電池、高効率給湯器等を接続し、パソコン等を用いて「電力の見える化」や「電力の利用コントロール」を行うこと（HEMS）が挙げられます。

電力を「見える化」することにより、エネルギーの使用状況がリアルタイムでわかるようになります。その結果、家庭での省エネ、節電への意識を上げることができます。

設備を導入する際には、費用がかかってしまいますが、国や自治体の補助金制度を利用する事で、費用を抑えることができます。

地球の環境を守るために、ご家庭への導入を検討してみたいはいかがでしょうか。（西山）



★太陽光発電システム等を設置した住宅★

三鷹市の農畜産物と多面的機能

三鷹市の地形は平坦地で、標高50m～65m、地質は関東ローム層と呼ばれる肥沃な農地であり、野菜・果樹・植木・花卉の栽培に適している地域です。また、養鶏や養蜂も行われています。

代表的な農畜産物として西洋野菜（カリフラワー・ブロッコリー等）、夏果菜（トマト・キュウリ・ナス等）、果樹（キウイフルーツ・ギンナン・ブドウ・ブルーベリー等）などがあります。植木や花も力を入れており、三鷹市農業公園内のJA東京むさし三鷹緑化センターを利用した流通が盛んです。当センターは、皆様の生活に潤いや安らぎを与える緑の供給場所ですので、是非ご利用ください。

なお、市内で最も多くの面積で栽培されているのは野菜で、ブロッコリー・ばれいしょ・キャベツ・トウモロコシ・エダマメ等が多く、市内農地面積は158.9haとなっております。

これからの季節は、畑にはキャベツ・カリフラワー・ブロッコリー・キウイフルーツ・ギンナン等が見かけられますので、ご近所の畑を気にして歩いてみていただければと思います。

さて、都市農業は多面的機能を持っています。一つは、防災機能です。去る平成23年3月11日の東日本大震災に続き、平成28年4月14日には熊本地震が発生し、不安を抱える日々ですが、農地は災害時の一時避難場所として活用されます。JA東京むさしも三鷹市と災害協定を結んでいることから、災害時に避難場所として提供するほか、不足する農産物を提供するシステムづくりを進めております。他にも自然・緑の景観、そして環境保全型農業の推進等、農地は欠かせない存在となっております。

これからも環境にやさしい農業に取り組んでまいりますので、新鮮で安全・安心な三鷹の農業を応援してください。

そして、11月12日（土）・13日（日）には、恒例の第56回三鷹市農業祭を三鷹市役所にて開催します。市内の農家さんが丹精込めて育てた農畜産物が集まります。是非皆様も足を運んでみてください。（JA東京むさし 平塚）



台風と環境

8月以降、多くの台風が発生し、日本列島に上陸したものもありました。右の写真は、台風9号の影響で増水した野川の様子です。この写真では若干水が引いていますが、増水時には、土手の上部付近まで到達することがあります。水が引いた後、水溜りには川に戻りそこなった魚がぴちぴちと跳ねていることもあります。



水かさが増すと、流木やビニール袋など様々なものが流れてきます。風で飛んでくることが多いビニール袋は、自然界のなかで分解されません。台風の際には、物を飛ばされないように家の周りを綺麗にする必要があると思いました。(永田)

私と玉川上水

今回、7月27日に開催された「史跡玉川上水整備活用のための作業説明会(主催:東京都水道局)」に出席する機会がありましたので、この件についてお話をしたいと思います。

東京都は「史跡玉川上水整備活用計画」(平成21年8月策定)に基づき、玉川上水を良好に保存するとともに、都民に親しまれる「水と緑の空間」を形成するための整備を行っています。これらの整備事業は、水路・法面の崩壊、倒木等を未然に防止するとともに、眺望を確保することを目的として実施しています。

説明によると、樹木の整備作業の際には、作業2週間前より目印のテープ(伐採処理:赤テープ、枝剪定処理:青テープ)を樹木に巻いており、併せて、現地近傍に「看板」を設置し「お知らせ」や「作業工程」等を掲示しているそうです。

今年の三鷹市内の整備範囲は、三鷹橋から萬助橋までの区間と、幸橋から牟礼橋までの区間を予定している、とのことでした。

説明会では、以下の内容について、特に守って欲しいとの説明がされました。

- ①事故防止のため柵の中には立ち入らない
- ②ごみを柵の中に捨てない
- ③魚や亀を放流しない
- ④生物に餌を与えない
- ⑤勝手に植物を植えない

玉川上水の緑・水環境は、計画的な整備作業によって維持管理されています。その結果、玉川上水周辺を含む都内のグリーンベルトが守られ、様々な動植物が生息でき、我々も自然を味わうことができるのです。

今後も、東京都水道局による玉川上水の整備作業や維持管理に注目しつつ、皆さまと一緒に、玉川上水に生息する動植物を見守っていきたいと思います。(鈴木)



★玉川上水整備作業のお知らせ看板★

環境掲示板

「和布で作るこねこちゃん」

主催:三鷹市
日時:平成28年10月26日(水曜日)
午後1時~3時30分
場所:三鷹市リサイクル市民工房
対象:どなたでも
定員:12人(申込多数の場合は抽選)
料金:無料
申込:10月18日(火曜日)必着で、
往復はがきでゴミ対策課まで
申し込む
問合せ:ゴミ対策課(内線2536)

「スポGOMI大会 In ふじみまつり」

日時:11月20日(日) 11時30分受付(予定)
場所:ふじみ衛生組合クリーンプラザふじみ
内容:チームで参加し、定められたエリア内で拾ったごみの質と量をポイントで競い合います。
対象:三鷹・調布市民
定員:10チーム(先着順、1チーム5人以内)
料金:無料
主催:みたか環境活動推進会議

優勝、準優勝チームにはジブリ美術館招待券をプレゼント。詳細は広報みたか11月1週号をご確認ください。
問合せ:環境政策課(内線2525)

編集後記

8月は広島、長崎の平和記念日、そして終戦記念日と、戦争と平和について考えさせられる日が続いた。その反面、全国高校野球、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会と、スポーツと平和の祭典が開催され、多くのドラマが生まれた。

9月には防災の日を迎えたが、今年も台風等の自然災害が発生し、各地で大きな被害をもたらしている。被害に遭われた方にお見舞いを申し上げるとともに、防災、自然環境、そして人との関わり合いについて考える機会であったと思う。(平澤)

次の発行は平成29年1月の予定です。

発行:みたか環境活動推進会議
(愛称 みんなの環境)

連絡先:三鷹市生活環境部環境政策課
電話 0422-45-1151 内線2523・2524

E-mail:kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。